



NEWS RELEASE

2012年10月30日

報道関係各位

昭和シェル石油株式会社
ソーラーフロンティア株式会社

昭和シェル石油とソーラーフロンティア、 宮崎県国富工場の屋根貸しで **2MW** の発電事業へ

国富町内のメガソーラー計 7.3MW に、町内約 3 割の世帯分の太陽光発電に匹敵

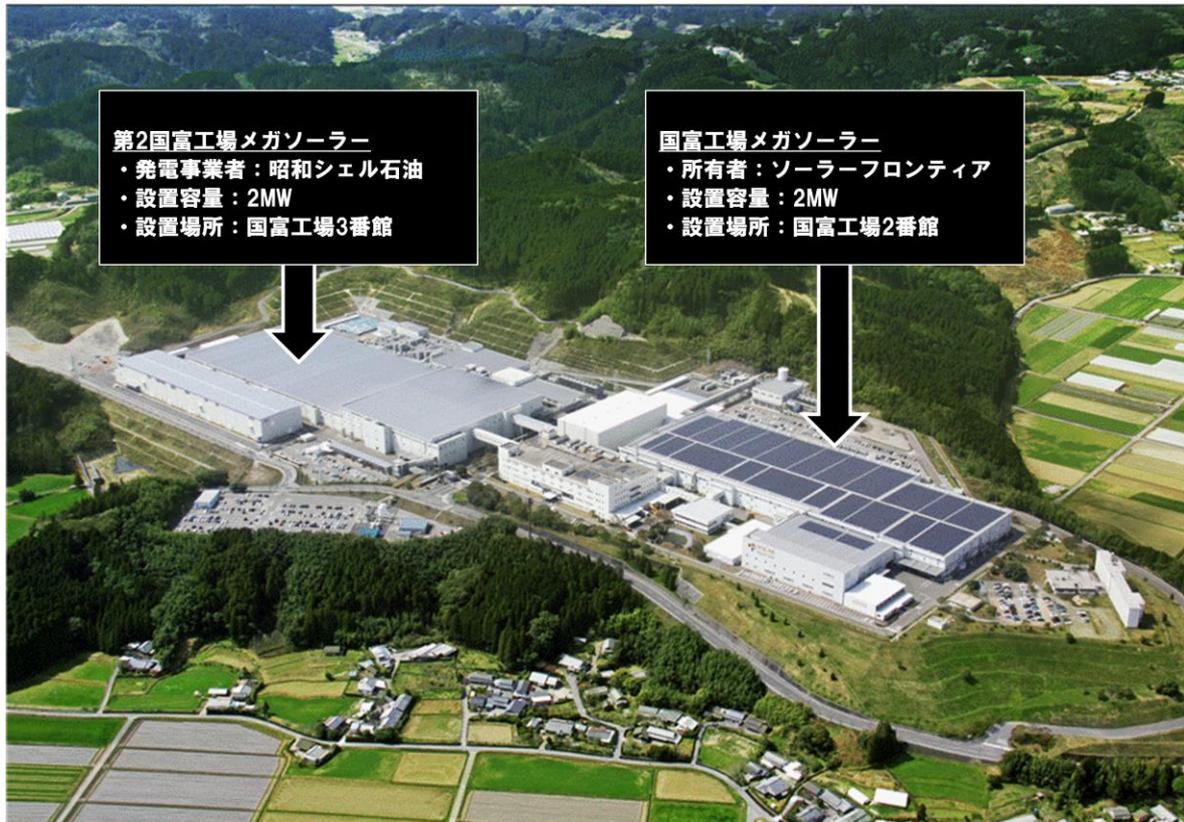
【東京ー2012年10月30日】ー昭和シェル石油株式会社（本社：東京都港区台場2-3-2、社長：新井純、以下：昭和シェル石油）とソーラーフロンティア株式会社（本社：東京都港区台場2-3-2、社長：亀田繁明、以下：ソーラーフロンティア）は、世界最大のCIS薄膜太陽電池の製造工場「国富工場」（宮崎県国富町）における発電事業（名称：「第2国富工場メガソーラー」）に関して協力することを決定しましたのでお知らせします。発電規模は約2メガワット、年内完工を目指して工事を進めていきます。これにより国富町内で稼働または計画されているメガソーラーは計7.3メガワットとなり、同町全世帯のうち約3割が太陽光発電システムを導入した場合に匹敵する規模になります。また昭和シェル石油としては新潟県の「新潟雪国型メガソーラー」に続き国内2例目の太陽光発電事業となります。

国富工場では、すでに2番館の屋上に2メガワットを設置し自家使用していますが、今回は3番館の屋根にソーラーフロンティアが生産するCIS薄膜太陽電池モジュールを設置し、生み出された電力は全て九州電力に売却されます。国富工場の所有者であるソーラーフロンティアが発電事業者である昭和シェル石油に屋根を貸与します。

国富工場は、2011年2月からCIS薄膜太陽電池モジュールの商業生産を開始、同年7月には全ラインを稼働させています。年間で900メガワットの生産能力を有し、日本最大の太陽電池工場であると同時に、CIS薄膜太陽電池モジュールを生産する工場としては世界最大です。現在、同工場で生産するCIS薄膜太陽電池モジュールの変換効率は13%を超えており、設置容量（kW）あたりの実発電量（kWh）は他の太陽電池を上回っています。昭和シェル石油とソーラーフロンティアは、これからも実発電量に優れ、環境に優しいCIS薄膜太陽電池を使って、日本のエネルギーの地産地消に一層貢献してまいります。

以上

【設置イメージ】



【昭和シェル石油株式会社について】

昭和シェル石油株式会社(5002, T)は東京証券取引所の上場会社で、エネルギー産業における 100 年以上の歴史を持つ企業です。

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社(5002, T)の100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。世界最大規模となる宮崎県の国富工場(年産能力900MW)は、2011 年2 月より一部ラインで商業生産を開始した後、同年7 月に全てのラインで商業生産を開始し、フル生産体制に移行しました。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量(kW)あたりの実発電量(kWh)が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されています。また、黒一色のデザインが評価され、内閣総理大臣表彰「第2 回ものづくり日本大賞」で優秀賞(製品・技術開発部門)、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2007 年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しました。

報道関係からの問い合わせ先:

昭和シェル石油株式会社 広報部 吉田 TEL:03-5531-5793
ソーラーフロンティア株式会社 ブランド&コミュニケーション部 中島・八宮 TEL: 03-5531-5792